

事務事業名		郷土博物館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				事業区分	担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり					担当係			担当課長名	山口明良
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進					新規事業・継続事業			継続事業	
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進					実施計画事業・一般事業			一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
	14810	一般	10	4	4	郷土博物館維持管理事業	任意的事業・義務的事業			任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令等	博物館法 佐野市立博物館条例	実施方法			直営		
							事業分類			施設維持管理事業(市主体)		
							リーディングプロジェクト			該当なし		
							市長マニフェスト			該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
郷土博物館の施設や設備を整備して、利用者に良好な環境を提供し、更に博物館で収集・保管・展示する貴重な資料の保存を図る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理に係る照明器具等の消耗品の購入</li> <li>常設展示室ルーバー修繕、企画展示室のケースロック修繕等</li> <li>常設展借用資料に対する賠償責任保険、田中正造銅像動産保険、火災保険等に参加</li> <li>収蔵庫のくん蒸業務委託。(7/1～7/4)</li> <li>空調機器、給排水設備、消防設備、昇降機等の保守点検及び館内清掃・警備業務の委託(年間)</li> </ul>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の維持管理に係る消耗品等購入</li> <li>施設の修繕</li> <li>借用資料及び建物の損害保険への加入</li> <li>収蔵庫及び展示室のくん蒸業務の実施</li> <li>空調機器、給排水設備等の保守点検、館内清掃業務、施設警備業務の委託等</li> </ul>			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			業務等委託件数	件	12	12	11				
			修繕件数	件	8	4	5				
			収集資料数	点	36,755	36,803	36,820				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
施設・設備 市民及び市外からの入館者 収蔵資料			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			敷地面積	㎡	7,470	7,470	7,470				
			入館者数	人	26,354	24,792	25,000				
			収蔵資料数	点	36,755	36,803	36,820				
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
① 建物・機械設備等を維持・管理し、展示室や収蔵施設の最適環境を保つ。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
② 利用者が、安全で快適に施設を利用できる環境を保つ。			適切に収蔵されている資料数/収蔵資料数	%	100.0	100.0	100.0				
			入館者/市民人口	%	21.4	20.2	20.4				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	449	523	338					
	一般財源	千円	8,660	7,214	8,333					
	事業費計(A)	千円	9,109	7,737	8,671	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	5,108	需用費	3,715	需用費	4,267		
			役務費	226	役務費	261	役務費	294		
委託料			3,686	委託料	3,538	委託料	4,009			
使用料及び賃借料			89	使用料及び賃借料	92	使用料及び賃借料	101			
				負担金、補助及び交付金	6					
				庁用器具費	87					
		公課費	38							
人件費	人	4	4	4						
のべ業務時間	時間	1,440	1,440	1,440						
人件費計(B)	千円	5,603	5,675	5,675	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	14,712	13,412	14,346	0	0				

事務事業名	郷土博物館維持管理事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年11月の郷土博物館の開館に伴い、利用者が安全で快適に施設を利用できるように、施設や設備を維持・管理して、展示室や収蔵施設の最適環境を保つために開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	昭和40年代から全国で多くの博物館や美術館が建設されたが、現在それらの施設の老朽化が進んでいる。当館も開館してから31年が経過し、施設の修繕箇所も増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 施設や設備を整備して、利用者に良好な環境を提供し、更に博物館で収集・保管・展示する貴重な資料の保存を図ることは、市民の学術・文化水準の向上や郷土への愛着を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 博物館を維持・管理する(地方自治法の掲げる事業)ことで、学術・調査活動の拠点施設として、地域の学術・文化水準を押し上げる役割を持つので、住民福祉の向上(地方自治法の掲げる目的)に合うものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 展示室や収蔵施設の最適環境を保ち、利用者に快適で安全な環境を提供することは、教育文化施設として当然のことであり、妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 施設の修繕や改修について、継続的な改修計画を立てて、施設の延命化を図る必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 施設・設備の管理業務のうち清掃業務・警備業務の委託は、指名競争入札による長期継続契約を結んでおり、また光熱水費や他の経費も削減に努めているため、事業費のこれ以上の削減の余地はない。また人件費についても、同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
現在の受益者負担は適正である		
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
博物館が開館している間は、施設の維持管理は必要であり、事業の休止・廃止は出来ない。博物館が閉館となれば、事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					